

令和6年度「事業者向けコンプライアンス講習会」WEB配信 受講者募集

東京都は、事業者が不適正な取引の防止や商品・サービスの表示に係る法令を遵守した事業活動に取り組めるよう、専門家（弁護士等）による法令・最新の違反事例・事前質問等の解説を取り入れたコンプライアンス講習会を実施します。

Aコース 特定商取引法（訪問販売・電話勧誘販売・特定継続的役務提供*編）

*エステティック、美容医療、語学教室、家庭教師、学習塾、パソコン教室、結婚相手紹介サービス

講師 齊藤 圭太 弁護士

内容／講義時間

法令・違反事例、事前質問等の解説／約120分

Bコース 特定商取引法（通信販売編）・東京都消費生活条例

講師 洞澤 美佳 弁護士

内容／講義時間

法令・違反事例、事前質問等の解説／約90分

講師 東京都職員（生活文化スポーツ局 消費生活部）

内容／講義時間

東京都消費生活条例の解説／約15分

Cコース 景品表示法・業界団体の参考事例

講師 古川 昌平 弁護士

内容／講義時間

法令・違反事例、事前質問等の解説／約120分

講師 公益社団法人 日本広告審査機構（JARO）職員

内容／講義時間

業界団体の参考事例／約45分

Dコース ネット広告総合・医薬品医療機器等法（薬機法）

（※事前にBコース及びCコースの受講を推奨します）

講師 池本 誠司 弁護士

内容／講義時間

ネット広告（SNS、動画等）違反事例、事前質問等の解説／約90分

講師 東京都職員（保健医療局 健康安全部）

内容／講義時間

医薬品医療機器等法（薬機法）の解説／約45分

配信期間

11月1日（金曜日）～12月26日（木曜日）まで【全コース共通】

受講料

無料

対象者

都内事業者でコンプライアンス向上に関心のある方等

申込期間

9月2日（月曜日）～10月15日（火曜日）まで

※申込者は、全てのコースを受講できます。

申込方法

下記申込フォームより必要事項を入力の上、お申込みください。

[東京都主催 事業者向け コンプライアンス講習会 WEB配信 申込フォーム \(tokyo-compliance-2024.com\)](https://www.tokyo-compliance-2024.com)

2023年度 全国の実害・危険情報の状況

エステティックサービスは微増

国民生活センターは全国消費生活情報ネットワークシステム（PIO-NET：パイオネット）で、全国の消費生活センター等に寄せられる商品・役務・設備に関連して身体にけが、病気等の疾病（危害）を受けた情報（以下「危害情報」という）および、危害を受けたわけではないが、そのおそれがある情報（以下「危険情報」という）を収集しています。このほど、2023年度にPIO-NETにより収集した危害・危険情報についてまとめ報道発表しました。

危害情報の商品別分類の件数

危害情報を商品別分類別にみると、最も件数が多かったのは、「保健衛生品」3,937件（31.6%）で、2022年度（1位、4,938件）より1,001件減少した。「化粧品」が2022年度より1,009件減少し、3,309件（84.0%）であった。このほかに、「医薬品類」やマスクなどを含む「他の保健衛生用品」、「家庭用電気治療器具」などが多い。2位は「保健・福祉サービス」3,200件（25.7%）で、2022年度（2位、2,879件）より321件増加した。「医療サービス」「エステティックサービス」「整体」「歯科治療」「美容院」の順が多い。2022年度より、「医療サービス」が203件、「エステティックサービス」が29件、「整体」が46件、「歯科治療」が7件それぞれ増加し、「美容院」が11件減少した。3位は「食料品」2,398件（19.2%）で、2022年度（3位、2,021件）より377件増加した。「健康食品」が2022年度より304件増加し、1,490件（62.1%）であった。「洗濯用洗剤」「家具類」「ふとん類」などが多い。

危害情報の商品・役務等の件数

商品・役務等別にみると、最も件数が多かったのは「化粧品」3,309件(26.5%)で、2022年度(1位、4,318件)より1,009件減少した(表7)。内訳をみると、2022年度より「養毛剤」が428件増加したものの、「ファンデーション」が378件、「パック」が219件、「化粧クリーム」が183件、「オールインワン化粧品」が120件、「シャンプー」が114件、「毛髪着色料」が100件それぞれ減少したことなどによる。2位は「健康食品」1,490件(11.9%)で、2022年度(2位、1,186件)より304件増加した。3位は、美容医療を含む「医療サービス」1,160件(9.3%)で、2022年度(3位、957件)より203件増加した。4位は「エステティックサービス」442件(3.5%)で、2022年度(4位、413件)より29件増加した。5位は「整体」400件(3.2%)で、2022年度(6位、354件)より46件増加した。

危害内容

危害内容別にみると、最も件数が多かったのは「皮膚障害」4,401件(35.3%)で、2022年度(1位、5,404件)より1,003件減少した(表3)。商品・役務等別にみると「化粧品」が2022年度より996件減少したものの、3,084件と約7割を占めており、次いで「健康食品」が287件で、2022年度より40件増加した(表9)。2位は「その他の傷病及び諸症状」(注3)3,453件(27.7%)で、2022年度(2位、3,194件)より259件増加した。「医療サービス」677件、「歯科治療」307件、「健康食品」296件などが多い。「歯科治療」は2022年度より1件減少したものの、「医療サービス」は141件、「健康食品」は107件、それぞれ増加した。3位は「消化器障害」1,522件(12.2%)で、2022年度(3位、1,324件)より198件増加した。「健康食品」が2022年度より124件増加し、823件と過半数を占めている。このほか「調理食品」105件、「外食」95件、「飲料」87件などが多い。4位は「熱傷」623件(5.0%)で、2022年度(5位、545件)より78件増加した。「エステティックサービス」132件、「医療サービス」97件、「美容院」37件などが多い。5位は「擦過傷・挫傷・打撲傷」579件(4.6%)で、2022年度(4位、612件)より33件減少した「エステティックサービス」49件、「商品一般」48件、「整体」41件などが多い。

美容センサス 2024 年上期

エステサロン市場規模はフェイシャル/ボディ/痩身で2525億円

㈱リクルートの美容に関する調査研究機関『ホットペッパービューティーアカデミー』は、美容センサス2023年下期「美容意識・購買行動編」 「15～69歳男女の美容意識とコスメ購買行動」の報告書を公表しました。

■市場規模推計(消費者ベース)

美容センサスから推計した市場規模は、【フェイシャル】が1524億円(前年比33.9%増)、【ボディ/痩身】が1001億円(前年比28.4%増)。

■1年以内のサロン利用率

【フェイシャル】 【ボディ/痩身】ともに、男女とも前年から利用率が増加。男性の【フェイシャル】利用率は2年連続、【ボディ/痩身】は3年連続で増加。

■1回あたり利用金額

【フェイシャル】 【ボディ/痩身】ともに、男女とも前年から利用金額が上昇。年代別に見ると、30代・40代を中心に利用金額が上昇。

■1年以内の施術内容・部位

【フェイシャル】では、男女とも「ほうれい線・たるみの改善」が前年から増加し、順位も上昇。

【フェイシャル】 施術内容

| 【女性】施術内容 トップ5 (n=499) | | 2024年 (%) | 前年差 (pt) |
|--------------------------|--------------|--------------|-------------|
| 1位 | 毛穴ケア | 37.3 | -5.2 |
| 2位 | 肌のハリ・ツヤ | 31.5 | -5.7 |
| 3位 | ほうれい線・たるみの改善 | 30.9 | 1.2 |
| 4位 | 乾燥肌・保湿ケア | 29.1 | -6.1 |
| 5位 | シミ・ソバカス改善 | 28.3 | -1.8 |

| 【男性】施術内容 トップ5 (n=329) | | 2024年 (%) | 前年差 (pt) |
|--------------------------|--------------|--------------|-------------|
| 1位 | ほうれい線・たるみの改善 | 34.0 | 4.3 |
| 2位 | 毛穴ケア | 32.2 | - |
| 3位 | しわ・小じわの改善 | 27.4 | -9.6 |
| 4位 | シミ・ソバカス改善 | 26.4 | -2.5 |
| 5位 | ひげそり跡のケア | 25.8 | 2.0 |

【ボディ/痩身】 施術部位

| 【女性】施術部位 トップ5 (n=342) | | 2024年 (%) | 前年差 (pt) |
|--------------------------|-------------|--------------|-------------|
| 1位 | お腹 | 39.5 | 0.2 |
| 2位 | 太もも | 38.0 | -2.3 |
| 3位 | 脚(ふくらはぎ・足首) | 34.2 | -6.7 |
| 4位 | 腰まわり | 28.1 | -0.3 |
| 5位 | 背中 | 26.0 | -2.1 |

| 【男性】施術部位 トップ5 (n=341) | | 2024年 (%) | 前年差 (pt) |
|--------------------------|-------------|--------------|-------------|
| 1位 | お腹 | 38.7 | -7.3 |
| 2位 | 脚(ふくらはぎ・足首) | 34.9 | -4.7 |
| 3位 | 太もも | 33.7 | 3.1 |
| 4位 | 腰まわり | 32.6 | -0.5 |
| 5位 | おしり | 27.9 | -2.7 |

ビューティーワールド ジャパン 大阪

10月21日(月)～23日(水)に開催

第19回を迎える西日本最大級の総合ビューティ見本市「ビューティーワールド ジャパン 大阪」(主催:メッセフランクフルト ジャパン(株))は、2024年10月21日(月)～23日(水)の3日間、インテックス大阪にて開催されます。今回は520社が出展し、35,000名(主催者見込)の来場者に向けてエステティック、コスメティック、ネイル、ヘア、インナービューティ、美容食品など美容に関する製品、サービス、技術などの最新情報を発信します。

また会場にはおいしく、きれいになれる商材を紹介するゾーン「テイスティ」を新設

し、「コスメティック」、「美容機器」、「ヘア」、「ネイル」、「アイラッシュ」、「ビジネスサポート」、「からだ+キレイ」、「フェムモア」の9つのゾーンで構成されます。

来場の事前登録はホームページから。[来場事前登録について \(messefrankfurt.com\)](https://messefrankfurt.com)



2023年開催の様子